

このたびは、落下防止ワイヤーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全にお使い頂く為に、取付説明書をよくお読みの上、施工頂きますようお願いいたします。

安全上のご注意


この注意事項はご使用になる方や他の人への危害や財産への損害を未然に防止する為に必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「損害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

落下防止ワイヤー設置に関するお願い

*落下防止ワイヤーを取り付ける前に、本紙「安全上のご注意」、「取付説明書」を必ずお読みください。

*落下防止ワイヤーは十分な強度のある場所に固定したアンカーボルトやフックなどに取り付けてください。

*安全には十分配慮しておりますが、安全確保のため、設置後の定期点検をお願いいたします。

*落下防止ワイヤーはハウジングやブラケットなどの取付金具の安全を保持する為の金具です。他の用途での使用はおやめください。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、ケガ、器物損壊の原因となります。

*必ず販売店にご依頼ください。

塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない



取付部が劣化して、落下など事故の原因となります。

禁止

専用のカメラ以外は取り付けない



落下などで、ケガや事故の原因となります。

*指定カメラ以外の機器は取付ないでください。

ネジや固定機構はしっかり締め付ける



締め付けがゆるむと、落下などで、ケガや事故の原因となります。

注意

取り付け部分の強度を確認する



取付部の強度が不十分な場合、落下などのケガや事故の原因となります。

*十分な強度に補強してから取付ください。

金属のエッジで手などをこすらない



強くこすると、ケガの原因となります。

禁止

定期的に点検する



金属やネジが錆びると落下などでケガや事故の原因となります。

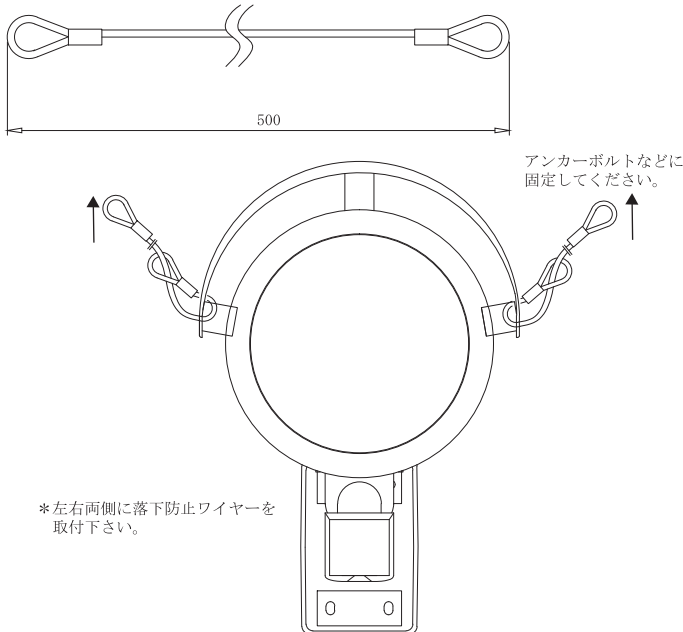
*点検は販売店にご依頼ください。

落下防止ワイヤーの取付方法

梱包内容

落下防止ワイヤー 2本 (長さ同じ)

*アンカーボルトなどの固定具は設置環境に合わせて、お客様でご準備ください。

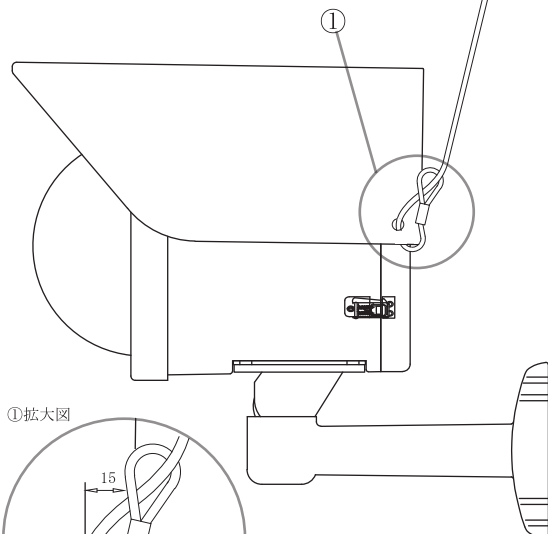


※1 ハウジング本体シェード部に8φ (推奨) の穴をあけてください。
①図参照

落下防止ワイヤーを穴に通します。

※2 反対側の端を壁側に取り付けます。
壁側のアンカーボルトなどはお客様でご準備下さい。

※3 取付後、ワイヤーの弛みがないか確認してください。



※端辺より15mmの位置に8φ (推奨) のワイヤー通し穴をドリルなどで下穴をあけてから本穴をあけて下さい。

*固定用のアンカーボルトなどは設置環境に合わせ、お客様でご準備ください。
*過度の締め付けは、歪みや破損の原因となりますので、ご注意ください。
*ホームページよりお問い合わせいただけます。

*本書に記載の内容は、予告無く仕様の変更、改廃を行う場合があります。